

保育おおさか

No. **444**

平成 24 年 8 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahoiku/

近畿ブロック保育研究集会

保育・子育てに関わる すべての人の議論こそ重要

菊池全保協副会長が基調報告

7月13日と14日の両日、なら100年会館をメイン会場に近畿ブロック保育研究集会が開催され、900人を超える保育関係者が参加しました。全国保育協議会副会長の菊池繁信氏が「保育をめぐる国の動向と課題」をテーマに基調報告を行い、保育制度改革の問題には歴史的背景があること、少子化が国の社会保障制度全般に与える影響について論及しました。社会保障・税一体改革に関する確認書(平成24年6月15日)については次のように説明。①幼保連携型認定子ども園は単一の施設として認可、指導監督などを一本化した上で学校および児童福祉施設としての法的位置付



基調報告



宮川花子氏

夫婦漫才コンビ「宮川大助・花子」の宮川花子氏が「こころいきいき」をテーマに講演されました。大助さんとともに、若手芸人メンバーを率いていち早く東日本大震災の被災地を訪れ、支援活動をされている映像を上映。現在も支援活動が続けられています。

「自分の

宮川花子氏記念講演

子どもの年齢に応じた
自分への教育が大切

（編集委員 M・K）
112面に分科会関連記事

夢を叶えたい」と、長女がまだ1歳のときに漫才師になり、子どもに無理や迷惑をかけながらの子育ての経験が話されました。

「子どもの夢を尊重する」「親の夢を子どもに押し付けない」「子どものやりたい夢を親が尊重し、サポートする」「子どもが夢を叶えるためには何が必要かを子どもと一緒に考え、自信を持たせて送り出す」と、自身の子育て観についても言及されました。

また、子育てをするためには「子どもの年齢に応じた自分への教育が大切」であることを強調されました。子どもを見るときは、学校での成績を見るのではなく、「どれだけ努力したか」を評価してきたこと、「自分が納得できない結果だったら努力しなさい」と支えてきたことを紹介されました。

「人に優しく、子どもに優しく。自分にできないことは、子どもにはさせない。悪いところだけ見ずに、良いところを見て欲しい」と、会場の保育関係者に対してメッセージを贈られました。



なら100年会館



地震もさることながら、最近ゲリラ豪雨による被害が増えています。弊園は人間でいうなら42歳。5月下旬

の豪雨落雷で、防犯設備と防火設備が壊れてしまいました。幸いなことに、防犯設備は警備会社所有のため無償交換でしたが、防火設備は園所有で、かなりの損害が生じました。保険のおかげで金銭的には軽微で済みましたが、事務処理や工事が大変でした。建物にも厄年はあるようです。

ちなみに、10年ほど前、やはり豪雨によって、天井の雨漏りが頻発した時期がありました。そのために屋上の全面防水工事を2年かけて行いました。人間なら33歳の頃のことです。建物にはなお、男女の厄があるのかもしれない。そう言えば、ドイツ語では「家」は中性名詞です。なににせよ、最近の天災は私たちの想定を超えるケースが増えています。ぜひとも、保険内容をもう一度ご確認ください。

（編集委員 J・H）

第2分科会

配慮を必要とする 子どもの保育の充実

大阪からは、「絆で深まる
子どもの理解と育まれる成長」と題して、北野田保育園の川添ゆみ子氏と都留孝氏の2人が発表を行いました。また、兵庫の猪名の森保育園の長瀬数子氏は「A児の育ちを支援して」と題して発表しました。

歳児で入園してきたY君の卒園するまでの記録について報告しました。

絆サークル「輪」では、友達や保育士、家族、専門機関との心のつながりや、母親の思いを確認した上で、他の子どもたちと同じような生活ができるようにされています。

川添氏は、広汎性発達障がいと嚥下開口障がい、低筋緊張という病気をもつ4



川添ゆみ子氏

理解と信頼関係を築いて絆を深めること。未来に向かって精いっぱい歩む姿をこれからも見守り続けることの大切さについて話されました。

障がいをもつ子どもを受け入れることは、家族や友達、保育全体にも大きな影響を及ぼすため、「子どもを囲む人との結びつきを大

切にしていきたい」と力説されました。

助言者の清水益治氏（帝塚山大学現代生活学部教授）は、「絆についての考え方や印象は良い」「保護者に対する指導・支援を推奨する記録を作成することが大切」「記録に関するメッセージでは、まず状況・行動を書き、表現方法には十分気を付ける」「周囲の反応もきちんと見ておく」などを指摘されました。

（編集委員K・K）

第3分科会

保育者の資質向上を図る

大阪府・たいよう保育園園長の西島由美子氏は、職員

- ①新任研修
- ②園内研修
- ③保育の専門性
- ④自己申告・提案シートの活用
- ⑤職員の委員会活動

の5つを実践されています。

「新任研修」では、「社会人としての自覚と心構え」「保育士としての心得」など

24項目のマニユアルを活用し、一社会人として常識ある行動がとれる人間に育成

しています。また、職員が主体の「委員会活動」（行事運営委員会・丈夫なからだ作り隊・生活向上委員会・保育環境委員会・地域支援



西島由美子氏

課・リスクマネジメント委員会」を組織化し、それぞれに担当者が企画・運営を行なっています。

疑問点や課題を見つけ、その課題の改善に向け主体的に取り組む姿勢が養われ、積極性や責任感も向上し、保育の人的環境にも成果をあげているようです。

助言者の川原佐公氏（元大阪府立大学社会福祉学部教授）からは、実践成果と努力をたたえたあと、「職員の多様な業務分担を明確にし、ひとりひとりの士気が育つように、園長・主任はスーパーバイザーとしての役割がある。保育士は保育内容を単なる技術にとらえることなく、ものの本質を見抜き、自身の品性と教養を高めることを目指してほしい」などアドバイスがありました。

（編集委員Y・N）

第9分科会

今後の保育所の運営課題

第9分科会は、山縣文治氏（関西大学教授）、菊池繁信氏（全国保育協議会副会長）、伊藤義明氏（近畿ブロック保育協議会会長）の3氏がディスカッション。要旨を紹介します。



菊池繁信氏

山縣氏 現在人口1万人を切る市町村では、幼稚園の設置が50%程度。過疎地域では、保育所のみというところも多い。すべての子ども

の教育を考えると、幼児一体は進めるべき。これからの保育所は地域に求められていることが重要。保護者と子どものニーズは必ずしも一致するものではないが、幼稚園が主張する教育と保育所の保育に違いはない。子どもにとって必要なことは何か、が考慮されるべき。

伊藤氏 地域活動を通じて「少子化」を肌で感じる。10年前とニーズは変わっている。さまざまな違いの上に成り立つ保育園の制度を議論するより、地域の中で

それぞれが何をしないといけないか、ということを議論して、子ども本意の保育ができるように考えるべき。

（保育園平和の園N・S）



山縣文治氏

周

囲をマンションが囲む中、そこだけは、まるで別の世界から持ってきたかのように、かわいらしい2階建ての園舎がありました。平成24年4月に開園された社会福祉法人つつみ会たんぽぽbambi（バンビ）保育園です。茨木市で長年にわたり保育園を運営されてきた法人の4つめの保育園であり、定員30人で、法人としては初めての乳児園です。

多くの乳児園は2歳児までを保育対象とされますが、地域の要請もあり、0・1歳児のみを保育されています。園に一歩足を踏み入れると、子どもたちの元気な声と一緒に、心地よい木の香りが漂ってきます。園内のいろいろな所に杉板が使用され、やわらかな木の風合いが感じられます。

全ての保育室から見える園庭には、子どもたちがコロコロ転がって遊べるように、芝生が全面に植えられています。広いウッドデッキや常緑の壁など、乳児の目線にたった構成が随所に施されています。

園長の三角岳生先生が語られます。「今まで培ってきた、たんぽぽの保育を行うことが、子どもたちの素晴らしい経験や発見につながります。保育者がさまざまなことにアンテナをはり、日々の活動の中にある【楽しい】や【発見】を見逃さないことが大事。一人ひとりの人間性の幅と深みが増して、自分が吸

0歳児・1歳児のプレミアを創る

子どもたちの元気な声と木の香りと広い緑の芝生

茨木市

たんぽぽbambi保育園



あたたかみの感じられる園舎

と、子どもたちの元気な声と一緒に、心地よい木の香りが漂ってきます。園内のいろいろな所に杉板が使用され、やわらかな木の風合いが感じられます。

全ての保育室から見える園庭には、子どもたちがコロコロ転がって遊べるように、芝生が全面に植えられています。広いウッドデッキや常緑の壁など、乳児の目線にたった構成が随所に施されています。

園長の三角岳生先生が語られます。「今まで培ってきた、たんぽぽの保育を行うことが、子どもたちの素晴らしい経験や発見につながります。保育者がさまざまなことにアンテナをはり、日々の活動の中にある【楽しい】や【発見】を見逃さないことが大事。一人ひとりの人間性の幅と深みが増して、自分が吸



元気な子どもたち

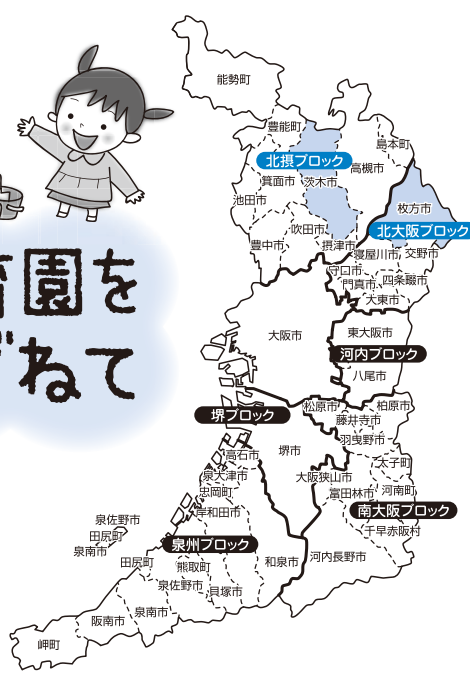
収したことを確実に実践していけば、この保育園は必ず0・1歳児にとつてのプレミアとなります。保育に完成形はありません。たんぽぽの乳児保育を突き詰め、保育の質をより高めていきたい。」

（編集委員T・N）



保育園をたずねて

452



」R津田駅から徒歩十数分、開園34年目を迎えるまりも保育園は、定員100人。保育室の空間づくりに工夫を凝らし、異年齢児との交流を考えられた構造になっています。「二人ひとりにその年齢の力をつける」保育を通して、家庭的・家族的な生活の場を目指されていることが強く感じられます。



夏祭りの子どもみこし

園長先生にお聞かされています。園の理念や方針の中にこの言葉を明記しているのですが、設立以来、保育に対する一貫した考え方だと思いました。

（編集委員J・H）



餅つきの為に、餅米の田植えをします

会を増やすなど、スムーズな移行ができるよう配慮されています。

異年齢の交流を図り一人ひとりに力をつける

空間づくりに工夫凝らす保育園は大きな家族

枚方市

まりも保育園

愛されるシリブカガシの実 遊び場と自然に恵まれる

地域に根ざし続ける保育園
「アフタービクス」も好評

堺市 ベビーセンターいっちゃん分園

家庭的な雰囲気の中でのあたたかい保育を目標に掲げられています。「今以上に地域に根ざした保育園とし

てあり続けるために、日々職員一同、研鑽しているところ」と、鶴川剛園長が話されていました。

定員を上回る需要があることから、一時預かり事業にも力を入れ、多くの利用者から喜びの声が寄せられています。

全面建替工事を終え、今年6月、3階建の北欧風の園舎に生まれ変わりました。全面芝生の園庭は、子どもたちが安心して裸足で歩くことができます。昨今

の夏の猛暑の経験から緑化にも配慮されています。

地域活動事業にも力を入れておられ、なかでも地域自治会館で保育士が行う「出張保育」「ベビーダンス」や産後の骨盤矯正エクササイズ「アフタービクス」は特に好評だそうです。

美多彌神社にある天然記念物「シリブカガシ」の実のことをこの地域では昔から「いっちゃんの実」と呼び親しまれていることから、園名にされたそうです。

全面建替工事を終え、今年6月、3階建の北欧風の園舎に生まれ変わりました。全面芝生の園庭は、子どもたちが安心して裸足で歩くことができます。昨今



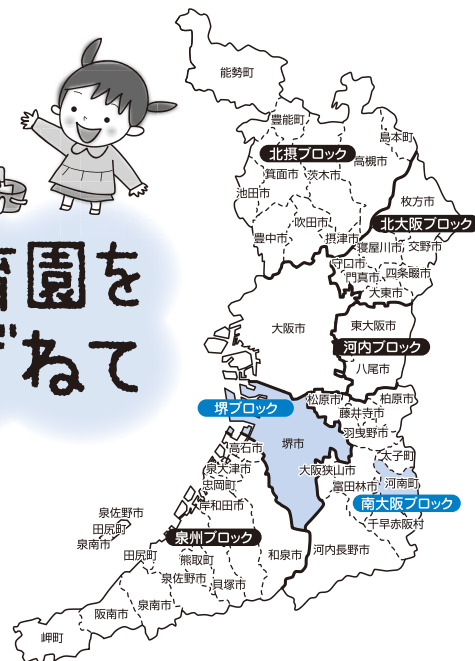
北欧風の園舎

(編集委員K・K)



保育園を たずねて

453



平成 成24年4月1日に開園されたばかりの石川保育園は、小学校を改修してできた河南町立の保育園。運営は指定管理者である社会福祉法人千早赤阪福祉会が担っています。

園舎は一見すると、小学校の校舎に見まがうほどです。元小学校ということもあって、とにかく広い！ 駐車場は最大200台まで停められます。園庭では50m走ができます。園庭の他に、以前は25mプールだった場所はフットサルができる専用のスペースに整備されています。

もちろん、保育室も広い！ 現在90人定員であるため、空き部屋があらわこちらにあるほどです。いずれは公立幼稚園と合併し、認定こども園になる予定とのこと。

「とにかく広い所が良いところ。悩みどころも、その広いところです」と園長の向井万規子先生。広すぎると職員の連携が取りにくいといった悩みがあるようです。しかし、この広さを生かした体力づくりでは、毎朝の体育サーキットとマラソン。雨の日には広い多目的ホールを使います。空き教室では、課外教室の英語・書道・ピアノを実施しています。

食育においても、広さが力。園庭のひろい畑で野菜づくりをされています。給



芝生が青々と美しい石川保育園

とにかく広い！元小学校 50m走もできる園庭

広さを生かした体力づくり
健康づくり・食育にも力

河南町

石川保育園



広い園庭

少子化の折、小学校の空き教室の有効利用にとどまらず、小学校を保育園にしてしまった石川保育園でした。

(編集委員N・M)



編集委員長 齊藤和正

司会 なぜ「保育園がつくる」コミュニティが、必要



● 保育園がつくるコミュニティ ●

スマイルサポーターをさらに増やし
困っている地域の親などを助ける施設へ

— 座談会 —

これまで「保育園がつくるコミュニティ」について7回の連載をしてきました。今回はその総括として、

と言われるようになってきたのでしよう。

本紙編集委員による座談会を開催。保育園が地域コミュニティにおいて求められる役割や、今後のあり方など、活発に意見交換されました。要旨を紹介します。

(司会は齋藤和正編集委員長)

かりでできているか、不安になることがあります。

D 子どもを叱る時、「先生に怒られるから」と言う親がいました。やってはいけないことをしっかりと叱る親が少なくなり、他人事のような親が増えているように感じます。

E 子育ての方法を親に伝えていくのが保育園の役割になっているのではないかと思います。

F 子育てに悩んでいる方に、保育園での子どもの成長や家では見せない姿を伝えるなど、子育てを「楽しい」と思えるように伝えていく役割があると思います。

G 最初は自分の仕事をしなくて保育園を利用される親がほとんどですが、保育園に来ることによって他の子どもや親同士で関わった

りすることで、子育ての楽しさがより深められ、自分の子どもの良いところが見えてくるようになっていきます。

司会 それぞれの保育園で、親や地域との関わりがあるとありますが、保育園がコミュニティづくりをするメリットには、どんなこ

とがありますか。

H 保育園に來れば、親子同士でつながりをもつ機会ができます。親同士で話をし、みんなで協力して子育てをする環境が作れるように思います。

I 離乳食に関する子育てセミナーを保育園で実施した時、離乳食の与え方が分からない親がいました。そんな機会を見つけて、民生委員・児童委員と協力して子育てのサポートを実施しています。

J 私たちの園では積極的に高齢者との交流を図るようになっています。身近に高齢者がおらず、話す機会が少なくなっているため、子どもたちにとっても貴重な経験になっています。また、お泊り保育の時などに地域の方々にパトロールをして

いただいています。コミュニティづくりをきっかけに、地域の方とのつながりをもつことは、地域の方々が保育園の子どもの顔を覚えてくださり、子どもが地域の中に独りぼちでいても、すぐに保育園に連絡をいただくことができます。

K 東日本大震災の時、園児の避難など助けてくれたのは地域の方々だったという話を聞きまして、災害に見舞われた時に、地域と協力連携ができることは、子どもの命を守ることにもしっかりとつながると思います。

司会 保育園の「コミュニティづくりや地域とのつながりづくりが必要とされるなか、今後の保育園に求められる使命はどのようなものだと感じますか。

L 株式会社社の保育園が参入してくるなか、保育のノウハウを持った企業もありま

す。私たち社会福祉法人の保育園は、悩みをたくさん抱えている地域の親などを見つけては、その手助けを行って、地域とのコミュニティを大事に、地域に還元することが必要であると思います。地域になくてはならないと思われるような施設を目指す



熱心に語り合う委員

す必要があると感じます。

M 私たちの保育園は、地域のことをよく知っていると

思います。しかし、保育のノウハウを地域に十分に還元できているといえないように感じます。いま保育部会で取り組んでいる地域貢献支援員(スマイルサポーター)が活躍する場を、もっと作っていくことも私たちの使命だと思っています。

司会 スマイルサポーターをもっと増やすことで、地域の困っている親子を助ける施設になることが、私たち社会福祉法人の保育園の使命だと感じました。

ブロックだより



北摂

恒例・職員運動会と キャンプ研修

恒例の北摂ブロック職員運動会が5月28日に茨木市グラウンドで開催され、61カ園、約1000人が参加しました。

企画から運営まで、手づくり感じっぱいの楽しい運動会です。毎年増える参加

者に対して、いかにスムーズに運営するかは大会役員の腕のみせどころ。お客さんとして参加するのでなく、保育士として、参加する一人ひとりがみんなであつくり上げる運動会を意識しています。それは、自分の保育園での行事に役立てることにもつながります。

6月8日・9日には、吉野宮滝野外学校でキャンプ



運動会

研修を行いました。

一般財団法人大阪府青少年活動財団の職員さんから野外活動のプログラムを学びました。キャンプファイヤーの薪の組み方やゲーム、ソング、進行方法の実践、グループごとのカレーラ



キャンプ研修

イス作りなど。シルバコンパスを手にとって、吉野の自然を体感する「コンパスウォークラリー」も行いました。自然あふれる吉野川沿いのコースを設定目標時間内に無事に全員がゴールしました。(編集委員M・H)

南大阪

音楽研修でまなぶ 楽器遊びと合奏指導法

6月16日、南大阪ブロック音楽研修が石川保育園を会場に開催。山地寛和先生(NPO法人生涯音楽アカデミー理事長)による幼児のための鍵盤ハーモニカ指導法の研修でした。

研修前に参加者全員が円になり、胸の前でリズムに合わせて交互にグーパー。手をプらプらさせ身体の一部に触る動きも。

「音楽や何かを始めるとき、何が始まるのかと、子どもは無意識に身体に力が入っているの、少し身体を動かしてから取り組むと良い」と山地先生。確かに、少し身体を動かすだけで、リラックスでき、気持ちよく活動に入ることができます。



合奏指導方法を体験中

由に動き回り、音楽がやんだら止まる「ストップ＆ゴー」やお返事ゲーム、階名唱で歌うなど、実践中心の研修で、次から次へと楽しい音楽遊びを教えてくださいました。

鍵盤ハーモニカの導入では、「凄いものを先生持ってきたよ!」などと言いながら楽器を紹介。子どもたちが興味を持つようタイミングを見ながら導入し、使う前の用意や運び方、使うときの約束など、子どもたちに問いかけながら話をします。

音の出し方や息遣いの感覚を知るために、スピンボールを用いたゲームをしました。どこに息を掛ければボールは前に進むかが分かり、息の吹き方を覚えます。



音楽遊びを実践中

この他にも、明日からすぐに実践できそうな、子どもたちと一緒に楽しむ音楽手法を教えてくださいました。(高屋保育園N・F)

震災後初めて、6月末に気仙沼の40数年來の知人の寺を訪れた。3年前には本堂の落慶法要に訪れ、地域の地形集落は記憶していたが、寺から海辺へは1キロ弱、寺から海辺への30軒くらいの家、水産会社の工場が跡形もなく、今更ながら津波の凄まじさを目の当たりにし茫然。

助かった話と、檀家が150人以上亡くなり、本堂に遺骨と写真が並べられ、今は墓どころではなく、寺で日々読経。8人家族で1人残った、この家は絶えた、未だ行方不明が5人。地域の中で寺が残り、今は復興へ向けての意見集約の中心的存在に。優しい色白美男子だった彼が、坊主



散らし寿司彩の鮮やか紅生姜 草引きの後の梅ジュースが爽快

頭に髭蓄え色浅黒く、精悍な僧侶に变身。支援の輪の話で、5月の日保総会研修会で講演いただいた上甲晃氏も当地域への支援活動をされている。

今年の夏は心配された節電も何とか免れそうな気配。暑い頭には髭蓄え色浅黒く、精悍な僧侶に变身。支援の輪の話で、5月の日保総会研修会で講演いただいた上甲晃氏も当地域への支援活動をされている。

上下返しをする。夕立の多い時期故、空模様に注意を払いながらの作業。次は紅生姜の仕込み。先に別に取置き白梅酢に、新生姜は塩で二晩重し、日干しで水気が引いたら、アクを出し切った赤紫蘇と共に

夏、食欲増進の食材の仕上げの作業。6月末に漬け込んだ梅を干す。厳しい陽射しに晒す日光浴。折角上手に漬かった梅が乾いて、ヨシズにくっついて皮が破れ、潰れ梅に。数年前からは厚手のビニールを敷き三日三晩

梅酢に。1週間もすれば鮮やかな紅生姜の出来上がり。毎月の誕生会のランチは散らし寿司。上には細切りの紅生姜が定着。赤色が盛り付けに力を発揮。うまいで。暑い夏は牛筋カレー。付け合わせに自家製ラッキョ。今年も

こ(なす・胡瓜・生姜などの糠漬けを塩抜きし、泉州で獲れる海老ジャコで甘辛く炊いた作りオカズ。玉葱との鰯すき、すっぽん鍋:そんなに食べると、漬もんでお茶漬けしとき。メタボの腹も減つこむで!! (H・N)

草引き作業の後は、梅ジュースが爽やか。こちらも勿論自家製。お客に出しては褒められて、つついっ差上げ、無くなるのが一番早いシロモノ(ラッキョと梅ジュースは家内の担当)。鰻が高値。体を冷やす夏野菜、八尾の枝豆に泉州の水なす、ジャコこう